

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立春日出中学校

令和8年4月

大阪市立春日出中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)
学校運営の中期目標**現状と課題****【安全・安心な教育の推進】**

校内アンケートにおいて「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合が75.7%（肯定的な回答は93.1%）、「学校のルールを守って生活している」の項目について、肯定的回答の割合が95%を超えていることから、生徒が主体の学校、落ち着いた学校環境が醸成されていると思われる。今年度も指導内容を充実させていく。不登校在籍比率は令和6年度、7年度とあまり変わらない状況であるものの、登校改善率は、大阪市と比較すると高い割合を示しており（R6 本校：51.9 大阪市：36.1）、関係諸機関と密に連絡を行い、教職員が個々の特性に応じた教育を行ってきた結果であると考えられる。継続して関係諸機関・保護者とも連携を取りながら個に応じた教育を実践し、アップルームも併用させながら登校につなげる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

「主体的で対話的な深い学び」の現状において85%の生徒が肯定的な回答を寄せている。また、積極的にICTを活用した日常の取り組みは肯定的な回答が81.5%であり、令和6年度（78.7%）よりも増加した。今後は学習動画コンテンツを上手く活用して家庭学習にもつなげ、本校の長期的な課題となっている自学自習の習慣化を実現し学力向上につなげる。また、本を読む習慣が身についている生徒も少ないため、継続して朝読書を実施する。定期テスト前に学習強化週間を設け、補習、並びに自学自習、目的にあった学習支援などを積極的に実施する。体力面では、昨年度、男子は大阪市平均を上回ったものの、女子は大阪市平均を下回る結果になった。引き続き、体育の授業で理論的な説明や練習を行うとともに、さらに体を動かすことに興味を深める取り組みを構築し、楽しいから体を動かす、動かすから体力が向上するという好循環を生み出せるようにしていく。

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの効果的活用方法を発信するとともに、ICT活用方法の研修を企画することによって、生徒の学習者用端末の活用率・教員のICT活用率ともに向上している。今後も実践とICTのベストミックスを図りながら、主体的・対話的で深い学びにつながる授業が展開できるように、また、生徒の家庭学習にもつながるように、計画的にICT活用研修を企画する。生徒の学習者用端末の有効的な利用に関しては、授業や家庭学習等の学習面の活用だけでなく、生徒の内面の変化の把握にも利用し、「安全・安心な教育の推進」の実現にも活用する。教職員の働き方については、超過勤務の実態はかなり改善されてきた。教職員がワーク・ライフバランスを大切にしながら生徒により良い教育を提供できるよう、今後も計画的な休養を促進させるとともに、ICT等を活用し業務の効率化を図る。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

○令和11年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。（R7 87.9%）

○令和 11 年度末の校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、80%以上にする。

(R7 75.7%)

○令和 11 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を 8.62%以下にする。

(R7 13.2%)

○令和 11 年度の校内調査の「生徒会や委員会、学級での班や係活動等に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。(R7 77.3%)

○令和 11 年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。

(R7 87.1%)

○令和 11 年度の校内調査の「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。

○令和 11 年度末の校内調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 11 年度の校内調査の「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、85%以上にする。

○令和 11 年度末中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において、いずれの学年も 1.00 以上とする。

(R7 1年：国 1.04 数 1.00 2年：国 0.97 数 1.10 3年：国 1.01 数 0.97)

○大阪市英語力調査における CEFR A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合 (4 技能) を 62%以上にする。(R7 46.9%)

○令和 11 年度の校内調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、84%以上にする。

(R7 78.6%)

○令和 11 年度末の校内調査における規則正しい生活を身に付けている生徒の割合（「朝食を毎日食べていますか」、「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする生徒の割合）を、86%以上、89%以上にする。

(R7 朝食を毎日食べていますか：84.2%、毎日、同じくらいの時刻に起きていますか：87.3%)

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 11 年度末の校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」の項目について、週 3 回以上と回答する生徒の割合を、80%以上にする。

○令和 11 年度末の校内調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を 80%以上にする。

○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 30 時間以下とする。(R7.2 36 時間 47 分)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ①年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。(R7 87.9%)
- ②年度末の校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を76%以上にする。(R7 75.7%)
- ③年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(R7 13.2%)
- ④年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(R7 31.4%)
- ⑤年度末の校内調査の「学校のルールを守って生活している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(R7 95.8%)
- ⑥年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。
(R7 87.1%)
- ⑦年度末の校内調査の「保護者との間にスマートフォン等（インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用（パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む））を利用する時のルールはありますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、60%以上にする。
- ⑧年度末の校内調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①年度末の校内調査の「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。
- ②中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
(R7 1年：国1.04 数1.00 2年：国0.97 数1.10 3年：国1.01 数0.97)
- ③大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を50%以上にする。(R7 46.9%)
- ④年度末の校内調査の「学習している内容が理解しやすい授業だ」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。
- ⑤年度末の校内調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。
(R7 78.6%)
- ⑥全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女ともに合計得点において、市平均を上回る。(R7 男子+1.1 女子-1.7)

【学びを支える教育環境の充実】

- ①年度末の校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を、60%以上にする。
- ②年度末の校内調査の「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」の項目について、肯定的に回答する生徒の割合を、60%以上にする。
- ③ICTを活用した授業において、全教員で昨年ののべ8431時間を上回る。(R7 8431時間)
- ④教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下にする。(R7.2 36時間47分)

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市立春日出中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>①年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。</p> <p>②年度末の校内調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を76%以上にする。 (R7 75.7%)</p> <p>③年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を毎年前年度より減少させる。 (R7 13.2%)</p> <p>④年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 (R7 31.4%)</p> <p>⑤年度末の校内調査の「学校のルールを守って生活している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(R7 95.8%)</p> <p>⑥年度末の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。(R7 87.1%)</p> <p>⑦年度末の校内調査の「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用する時のルールはありますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、60%以上にする。</p> <p>⑧年度末の校内調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、85%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①②【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(生活指導部)</p> <p>生徒間で起こる「いじめ」や「トラブル」について、確実な情報収集とともに早期解決に向け組織的に対応する。</p> <p>指標 年度末の校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。</p>	
<p>取組内容③④【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(生活指導部・教務部)</p> <p>不登校のみならず、生徒の生活上の背景を把握し、家庭との連携をより深められるよう生徒、保護者との関係を構築する。また、不登校等の何らかの要因により学校へ登校しにくい生徒の個別学習環境(居場所確保)を充実させ、並びに学習・授業動画を活用し学びの保障を充実させる。</p> <p>指標 年度末の校内調査の「自分のことを理解してくれる先生がいる。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合78%以上にする。(R7 77.8%)</p> <p>年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を毎年前年度より減少さ</p>	

<p>せる。(R7 13.2%) 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 (R7 31.4%)</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(生活指導部) 集会、行事、学級活動など、学校生活において生徒が主体となれるよう指導をしていくと同時に、目安箱の設置、校則の見直しなどをして、生徒同士が自立心を高めていける取り組みを行う。</p>	
<p>指標 年度末の校内調査の「生徒会や委員会、学級での班や係活動等に積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、78%以上にする。(R7 77.3%)</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(健康教育部) 生涯を通じて健康な生活を送る基礎を培う健康教育の推進に努める。また、保健委員会活動や保健指導を通し、生徒の自己管理や健康に対する意識を向上させる。</p>	
<p>指標 保健委員会活動では、健康・安全の観点から、残食ゼロをめざす取り組みや、熱中症対策、感染症予防の呼びかけなどを継続することで、全校生徒の健康意識を高め、健やかな体の育成に繋げる。また、自己管理の観点より、検診行事後には必要に応じて個々や集団への保健指導を行い、受診勧告者数に対して50%以上の受診率をめざす。</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(生活指導部) 生徒の防災への意識を高め、さらに、「命」をテーマに、防災の取り組みを各学年で構築していく。</p>	
<p>指標 年度末の校内調査の「学校では、命を大切に、人権を尊重する心と態度を育てるための学ぶ機会が多くある」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。(R7 87.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区役所、地域共同の防災訓練と全校生徒集団下校訓練の実施 ・ 保健体育科と連携し、 <ul style="list-style-type: none"> 3年生：普通救命講習Iを受講し、資格を獲得させる 2年生：保健の授業で心肺蘇生法、心臓マッサージの実技体験 	
<p>取組内容⑦【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】(生活指導部) 各家庭でのスマホの使い方やルールを決めることを積極的に生徒・保護者に働きかけ、学校現場以外の機関にも協力を求めながら、実際に起きている事案をもとに、スマホの適切な使い方を指導する。</p>	
<p>指標 年度末の校内調査の「保護者との間にスマートフォン等(インターネットを通じたゲーム・動画・SNS等の利用(パソコンや携帯電話・タブレット端末を含む))を利用する時のルールはありますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、60%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑧【基本的な方向2、豊かな心の育成】(人権・外国人教育推進委員会) 教職員の人権感覚を磨き共通理解を図り、生徒の3年間を通じた系統的な人権教育を推進する。全教科・全分掌が連携した横断的な取組により、互いを尊重し支え合う心を育成する。</p>	
<p>指標 年度末の校内調査の「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、85%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立春日出中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>①年度末の校内調査の「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。</p> <p>②中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。(R7 1年: 国1.04 数1.00 2年: 国0.97 数1.10)</p> <p>③大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を50%以上にする。(R7 46.9%)</p> <p>④年度末の校内調査の「学習している内容が理解しやすい授業だ」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。</p> <p>⑤年度末の校内調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。(R7 78.6%)</p> <p>⑥全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女ともに合計得点において市平均を上回る。(R7 男子+1.1 女子-1.7)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(教務部)</p> <p>年間1回以上の研究授業・相互授業参観・教員の研修を行い、授業を通じて、主体的・対話的な深い学びを目指した授業づくりに取り組む。</p> <p>指標 年度末の校内調査の「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(国語科・数学科)</p> <p>基礎学習定着のため日々の小テスト・単元テストを取り入れる。</p> <p>指標 チャレンジテストの「知識・技能」の観点の得点率(平均点/配点)の項目の3学年の平均を大阪府に対し国語・数学ともに昨年度を上回る。</p> <p>(R7 3年国語:64.5 数学:63.0) ※大阪府(国語:63.0 数学:64.3)</p> <p>(R7 2年国語:57.5 数学:65.1) ※大阪府(国語:59.9 数学:58.7)</p> <p>(R7 1年国語:64.8 数学:66.5) ※大阪府(国語:61.5 数学:65.5)</p> <p>(R7 国語:62.3 数学:64.9) ※大阪府(国語:61.5 数学:62.8)</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(英語科)</p> <p>基礎学習定着のため日々の小テスト・単元テストを取り入れ、学んだ英語で話したり、書いたりする自己表現活動を計画的に授業の中で取り入れる。</p>	

<p>指標 校内英語科アンケートの「学んだ英語を理解し、自分のことを英語で表現できるように積極的に授業に参加できている」という項目について肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向4、誰一人取り残さない学力の向上】(教務部) 校内定期テストにおいて、生徒の受験への積極的な取り組み姿勢を構築するため、テスト前学習補習時間を設定し、学習強化週間とする。</p>	
<p>指標 年度末の校内調査の「学習している内容が理解しやすい授業だ」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、88%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向5、健やかな体の育成】(保健体育科) 体育の授業において達成しやすい課題を提示し、運動の難しさに対する意識を軽減する。</p>	
<p>指標 学校評価アンケートの「以前よりも運動ができるようになったと感じますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、60%以上にする。 年度末の校内調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。 (R7 78.6%)</p>	
<p>取組内容⑥【基本的な方向5、健やかな体の育成】(保健体育科) 体育の授業において、より運動能力の向上につながる教科指導を実施し、授業内だけでなく、自宅でも運動に取り組もうと意識できる運動の内容を授業内で提示することで、日常的な運動能力の向上を図る。</p>	
<p>指標 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男女ともに合計得点において市平均を上回る。(R7 男子+1.1 女子-1.7)</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立春日出中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>①年度末の校内調査の「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を、60%以上にする。</p> <p>②年度末の校内調査の「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか。」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、60%以上にする。</p> <p>③ICTを活用した授業において、全教員で昨年ののべ8431時間を上回る。(R7 8431時間)</p> <p>④教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下とする。(R7.2 36時間47分)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①②③【基本的な方向6、教育DXの推進】(ICT委員会)</p> <p>年間で1回以上ICTに関する研修を行うと共に、学習者用端末の使用率向上のためにICT支援員と協力し、各教科での学習者用端末を使用した授業の研究を促進する。</p> <p>指標 年度末の校内調査の「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習をしている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、82%以上にする。(R7 81.5%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向7、人材確保・育成としなやかな組織づくり】(安全衛生委員会) ICT担当教員や教務と連携をとりながら、教職員のICTの活用を促進させて業務の効率化を図る。また、教職員に計画的な年休取得を促し、ワーク・ライフバランスを大切にしながら、子どもたちの教育に全力を注げる環境を整える。</p> <p>指標 月80時間以上長時間勤務対象者を昨年度よりも減少させる。(R7 延べ42人)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向7、人材確保・育成としなやかな組織づくり】(安全衛生委員会) 時間外勤務時間を月ごとに周知し、産業医とともに労働時間改善に向け積極的に働きかける。</p> <p>指標 ゆとりの日を設け、週1回以上を実施する。(R7 42日)</p> <p>教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月35時間以下とする。(R7.2 36時間47分)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

